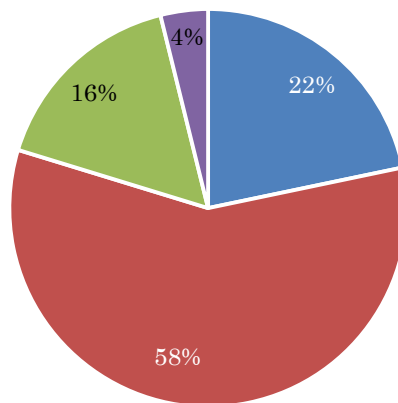


5 LGBTQ+などの性的マイノリティについて

問 13 あなたは、現在の日本は、性的マイノリティの方にとって暮らしやすい社会だと思いますか？

- ① 暮らしやすい
- ② どちらかといえば暮らしやすい
- ③ どちらかといえば暮らしにくい
- ④ 暮らしにくい

性的マイノリティの暮らしやすさ



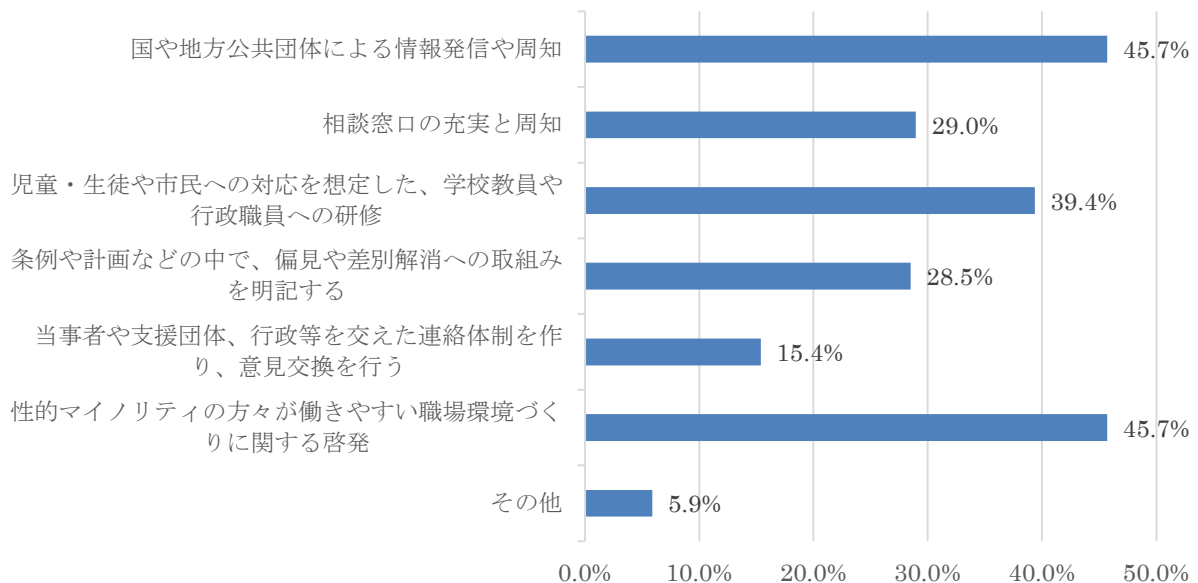
■ 暮らしにくい ■ どちらかといえば暮らしにくい ■ どちらかといえば暮らしやすい ■ 暮らしやすい

「どちらかといえば暮らしにくい」「暮らしにくい」と回答した人が全体の約 8 割となっている。

問 14 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、誰もが暮らしやすい社会をつくるために、今後、市はどのようなことに取り組む必要があるか、あなたの考えに近い番号に○をつけてください。（いくつでも）

- ① 国や地方公共団体が、多様なパートナーシップや家族のあり方についての情報発信や周知啓発を行う
- ② 相談窓口の充実と周知
- ③ 児童・生徒や市民への対応を想定した、小中高などの学校教員や行政職員への研修等を行う
- ④ 条例や計画などの中で、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する
- ⑤ 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡体制を作り、意見交換を行う
- ⑥ 性的マイノリティの方々働きやすい職場環境づくりへの取り組みに関わる啓発を行う
- ⑦ その他

市が取り組むべきこと



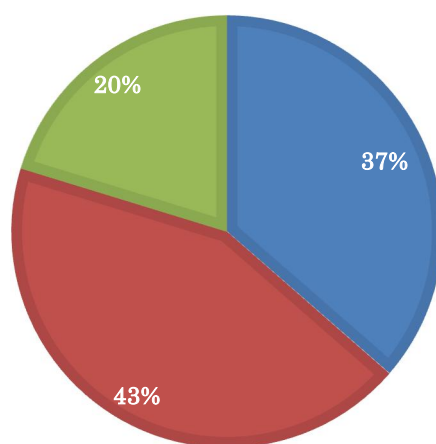
回答が多かったものは、「多様な性のあり方に関する情報発信」「働きやすい職場環境づくりに関する啓発」、次いで「学校教員や行政職員への研修」「相談窓口の充実と周知」の順に多い回答となっている。

問 15 あなたはパートナーシップ宣誓制度について知っていますか

- ① 内容まで知っている
- ② 聞いたことがある程度
- ③ このアンケートで初めて知った

パートナーシップ宣誓制度について

■ このアンケートで初めて知った ■ 聞いたことがある程度 ■ 内容まで知っている



最も回答が多かったものは「聞いたことがある程度」となっており、「内容まで知っている」は2割にとどまっている。